

2 2 9 - 1 1
0 4

相模原市東橋本

〒 2 2 9 - 1 1 7 9 6 0 1 1

小野 了男 二 様

YOUR
SHISEIDO

981-4334

宮城県加美郡加美町
字町屋敷 2 9 12

佐々木 健一

拝啓

こちらには いくぶん暖かくなりました。

家の庭で 早朝にウグイスの鳴くのを 三度ほど聞きました。

今年は大雪が降りましたが、数年ぶりの大雪は、

雪かきの作業も大変でした。

このたびは、レポポといたが、誠に有難うございます。

かんぱい 美味しくいただきます。

小野園は合併して二年になります。合併のせいばかり

ではないのですが、商売はすっかり暇になり、考えこみると

昭和二十年、代々の売上です。当時はまだ人口が
一万二千余人余いたが、^旧小野田所、人口は今八千人
です。宮崎もその通りで、両地区とも^開産が増えつゝ居ます。
宮崎の菓屋(古内さん)も一昨年やめつゝいます。
当方も孫に商売をやらせつゝいものやら考へて居ります。
前に「わらにお」のことが手紙に書つてあつたので、^{すか}河北新報
に記事があつたので送ります。今は珍らしくなつて
あります。

我が家の孫三人(男)ですが、上の二人はニギとニギ土日は

スキートの試合、福島まで出かけることもあります。平日も週一くらいはナイタースキーで、泉ヶ岳のスキー場まで^{親が}連れて行っていただきます。もう八回くらい大会に出ていると思うのですが、成績の一部分をコピースしました。常に上位とはいえないようにはなっています。勉強はあまり力が入らないようですが、親達が何もいりない（？）のを黙っていただきます。

七月二十日前後になると思いますが、母の十三回忌と父の十三回忌（正確な来年になります）を行うことになりました。ご案内をさしていただきます。その節はよろしくお願いいたします。

ますは用件のみにて

敬具

町セントリースキー場で開かれ、小中学生たちが大回転で熱戦を展開した。大崎勢は、BクラスとEクラスを制した。上位結果は次の通り。▽Bクラス①橋本優(鬼首小)計1分35秒80(49秒34、46秒46)②千葉奈津美(同)④上野友花(中山小)▽Dクラス

七ヶ宿GS大会でも大崎勢活躍。第二回七ヶ宿GS大会が二十日、刈田郡七ヶ宿町の七ヶ宿スキー場で開かれ、県内外から参加した百六十三人が熱戦を繰り広げた。大崎勢は、

少年三種目で優勝した。大崎関係の上位結果は次の通り。◇男子▽少年2部⑥青砥大起(東小野田小)計2分15秒28(1分7秒24、1分8秒04)▽同4部⑦上野滝人(鳴子中)計1分44秒31(53秒84、50秒47)⑧島山和希(小

野友花(中山小)⑥遊佐美咲(同)▽同4部の青砥由依(小野田中)計1分56秒79(58秒52、58秒27)県民体育大会スキー兼ジュニア第2戦「県民体育大会冬季大会スキー競技会兼ジュニア競技会第二戦」が二十

日、小野田市の文相とあり、大会序盤屈指の好カードとして注目を集めている。試合は、大会二日目の

技場第一体育館Aコートで行われる。

大崎勢は小中合わせて七種目で優勝した。上位結果は次の通り。◇男子▽小学5年⑥木田久仁弥(鳴子)計1分39秒13(49秒79、49秒34)▽同6年①佐々木光太郎(東小野田)計1分34秒55(48秒34、46秒21)④佐々木晋太郎(同)⑥遊佐繁里(鳴子)▽中学1年②早坂拓也(小野田)計1分41秒49(56秒16、45秒33)▽同2年①佐々木健太郎(小野田)計1分28秒96(45秒41、43秒55)③藤島洋斗(中

新田)▽3年②青砥慶治(45秒37、44秒11)

など主催、通称・春の高校バレー)の組み合わせが六日、決定した。十二年連続二十七度目の出場

の女子・古川学園は、1回戦で大阪の強豪・四天王寺と激突する。大会は二十日開幕。

抽選会は東京・フジテレビで開かれ、地区予選を勝ち抜いた全国百六校の代表が出席。旧名称・古川商業時代から数えて五度目の優勝を狙う古川学園は二十一日の初戦、大阪第一代表の四天王寺との対戦が決まった。平成九、十年の春高女子決

「第二十六回オニコウベカップGS大会」が六日、鳴子町オニコウベスキー場で開かれ、十二クラスで熱戦が展開された。同スキー場が毎年開催している恒例行事。今回は県内外から約百六十人が参加し、大回転の一走り採用制でタイムを競った。上位者を表彰したほ

か、プービー賞にも賞品を贈り、全参加者を対象に豪華景品が当たる抽選会も実施した。上位結果は次の通り。◇男子▽小学1-3年①伊藤和明(長沢スポ少)41秒71②大場一輝(オニコウベSSRC)③青翔(鬼首少年スキークラブ)④庄子圭一郎(仙台レーシング)⑤大

場琢未(鬼首少年スキークラブ)⑥叶内宏樹(長沢スポ少)▽同4-6年①佐々木光太郎(東小野田小)46秒66②永井裕(宮城蔵王ジュニア)③岩淵稔(同)④佐々木晋太郎(東小野田小)⑤関谷貴貴(フアプススキーレーシング)⑥遊佐繁里(鳴子小)▽中学①島山和希(STR)43秒04②佐々木健太郎(小野田中)③藤島洋斗(中新田中)④阿部琢也(秀光中

等教育学校)⑥高橋元樹(宮城蔵王スキークラブ)40秒37⑦沢辺俊介(栗駒スキー協会)⑧阿部博人(無所属)④伊藤博之(なるせんクリーニング)⑤和賀光悦(仙台アルペンクラブ)⑥古谷宏之(横手スキー連盟)▽40-49歳①南幅清也(都南クラブ)42秒47②岸正寿(JTスキーレーシング)③鎌田誠喜(古

川スキー協会)④伊藤俊(無所属)⑤佐藤一房(千畑SSC)⑥木田浩暢(なるせんクリーニング)▽50歳以上①柏倉博(チム脱走ゴンドキ)42秒00②佐藤雄雄(最北スキー研究会)③斎藤和夫(無所属)④関健太郎(西蔵王レーシング)⑤佐々木孝(岩出山スキー

160人が熱戦展開。オニコウベカップGS大会。鳴子

「第二十六回オニコウベカップGS大会」が六日、鳴子町オニコウベスキー場で開かれ、十二クラスで熱戦が展開された。

同スキー場が毎年開催している恒例行事。今回は県内外から約百六十人が参加し、大回転の一走り採用制でタイムを競った。上位者を表彰したほ

か、プービー賞にも賞品を贈り、全参加者を対象に豪華景品が当たる抽選会も実施した。

上位結果は次の通り。◇男子▽小学1-3年①伊藤和明(長沢スポ少)41秒71②大場一輝(オニコウベSSRC)③青翔(鬼首少年スキークラブ)④庄子圭一郎(仙台レーシング)⑤大

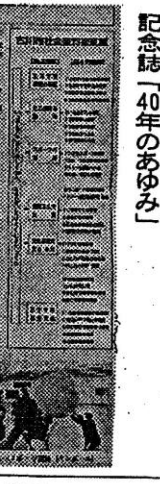
場琢未(鬼首少年スキークラブ)⑥叶内宏樹(長沢スポ少)▽同4-6年①佐々木光太郎(東小野田小)46秒66②永井裕(宮城蔵王ジュニア)③岩淵稔(同)④佐々木晋太郎(東小野田小)⑤関谷貴貴(フアプススキーレーシング)⑥遊佐繁里(鳴子小)▽中学①島山和希(STR)43秒04②佐々木健太郎(小野田中)③藤島洋斗(中新田中)④阿部琢也(秀光中

等教育学校)⑥高橋元樹(宮城蔵王スキークラブ)40秒37⑦沢辺俊介(栗駒スキー協会)⑧阿部博人(無所属)④伊藤博之(なるせんクリーニング)⑤和賀光悦(仙台アルペンクラブ)⑥古谷宏之(横手スキー連盟)▽40-49歳①南幅清也(都南クラブ)42秒47②岸正寿(JTスキーレーシング)③鎌田誠喜(古

川スキー協会)④伊藤俊(無所属)⑤佐藤一房(千畑SSC)⑥木田浩暢(なるせんクリーニング)▽50歳以上①柏倉博(チム脱走ゴンドキ)42秒00②佐藤雄雄(最北スキー研究会)③斎藤和夫(無所属)④関健太郎(西蔵王レーシング)⑤佐々木孝(岩出山スキー

体指制度発足40周年

と地域住民をつなぐ「コーディネーター」ニュースボートの推進役としてま



記念誌「40年のあゆみ」

「わらにお」で農村の原風景再現

— 加美町・やくらい土産センター前にお目見え —



記事についてのお
地域版編集室 ☎0229
掲載エリア / 古川市・加美
遠田郡・栗原郡・登米郡 =



わらの束を円柱状に積み上げた「わらにお」が、加美町小野田のやくらい土産センター前にお目見えした。昭和四十年代までは、収穫を終えたこの田んぼでも見られたが、今となっては希少。当時を知る人たちにとつて懐かしい存在だが、子どもや若者には「わらのおうち」「わらのオブジェ」といった目新しさと興味を引いている。



実際に使われていた木製の「へら」で形を整えていく。適度な重さと厚みが必要だ。

き、家畜のえさや敷きわら、しめ縄、俵などのわら細工などに使われた。名前の語源は定かでないが、天に向かった力強い立ち姿が「王(立ち)」を意味しているのではな

地域住民らが1日ばかりで制作

「(七)をはじめ、男性ばかり七人が集まった。作業の指揮を執るのはもちろん西塚さん。中心



作業の様子を眺めるうちに「わらにおがあつたころは…」と自然に当時の話題が飛び交う



「わらのおうちだ」。作業中、子どもがわらにおに乗って遊ぶ場面も

田美代子さん(五)は「中」に渋谷ガキを入れてお西塚さんに渡す人など、それぞれの役割を黙々とこなした。「コンバインで刈ったわらは、手刈りだったころより長さが短くて、うまくいかない」などと、思わぬところで時代の変化に苦闘する場面も見られた。

1日ばかりで完成 わらにお作りは「今では見ることのないわらにおを展示して、施設を訪れた人たちに、昔の農村風景を懐かしんでもらおう」との思いから企画された。 終始動きつめで、後半は高所の作業となった西塚さんだが「昔を思い出して懐かしかった」と、疲れをみじんも感じさせないはつらつとした表情を見せる。 わらにおは、やくらい土産センターのシンボルとして、冬期間飾られる



田んぼ30分、約3トンのわらが使われた



次第に高さが増して、後半は脚立を使った作業となった



この写真は昭和 15 年頃で勇二は「小学 4 年生」でした。
三島酒造 裏の「わらにおう」から転落し右足「ムコウツネ？」を骨折
この時、「小野 要助」（三島酒造で杜氏を）伯父に助けられた記憶が
この写真は、古川の骨折院帰りに写したものです。

面白い話し

「勇也・勇二ともに「かけそば」なるものを生まれて初めて、古川の地で食した」との記憶が！

前ページの「わらにおう」から、思い出しました。
健一さん有り難いお手紙でした。

素晴らしい記録の「洸太郎」君の今は、知りたいものです。.

END